

議会だより だいせん

34号

2013年11月14日発行
鳥取県大山町議会



決算で熱い論戦 7

初めての「議員と語る会」 29

一般質問に14人 15

がんばるから見ててね

平成24年度

決算で議論白熱

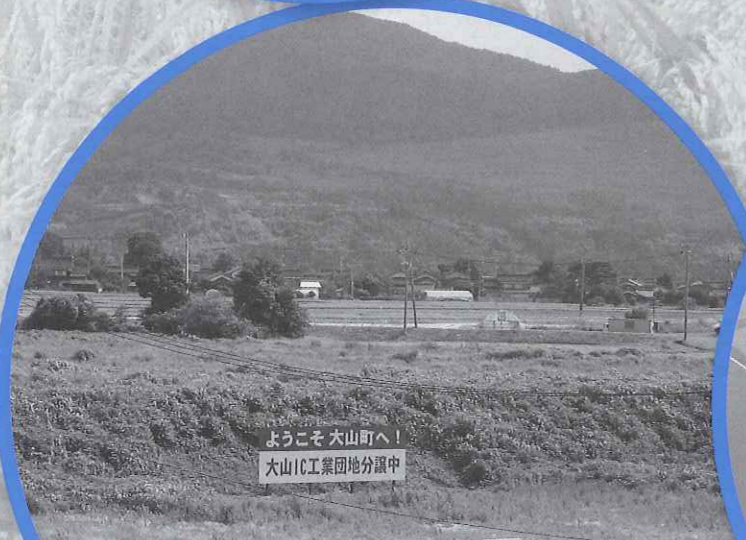
平成24年度に行った主な事業



消防ポンプ自動車購入
名和分団のポンプ車を1台更新
2073万円



「山香荘」の整備・改修事業
多目的広場・グラウンドゴルフ場・駐車場などの整備・改修
3億9405万円



工業団地造成事業
大山インターチェンジ工業団地の一区画に
進入路と上下水道を敷設
1442万円



名和地区拠点保育所整備事業
建設用地取得・設計など初年度の整備
6546万円

一般会計歳出104億円 特別会計歳出 73億円 を

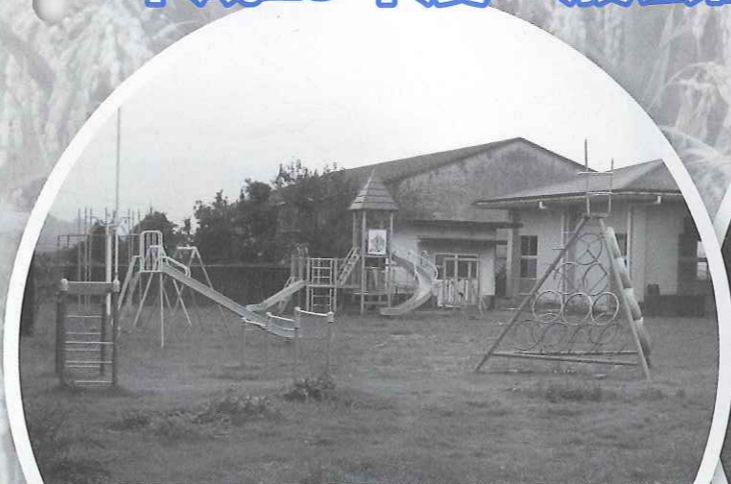


9月定例会を9月9日から30日までの22日間の会期で開きました。
平成24年度決算は、決算審査特別委員会を設置して常任委員会ごとに審査をし、
19議案すべてを認定しました。
また、平成25年度補正予算5議案と議員提出の2議案を原案どおり可決しました。
(審議結果は6ページ、質疑・討論は7ページから掲載)



ナラ枯れ防止対策
大山とその周辺のナラ枯れ被害木
の伐採駆除
3060万円

平成25年度一般会計補正予算の主な事業



プール・遊具の撤去工事
旧高麗保育所のプール・遊具を
安全を考え撤去する
644万円



豪雨災害復旧事業
8月豪雨被害の復旧工事
2110万円

定例会

決算報告

審議結果

質疑・討論

委員会報告

陳情審査

一般質問

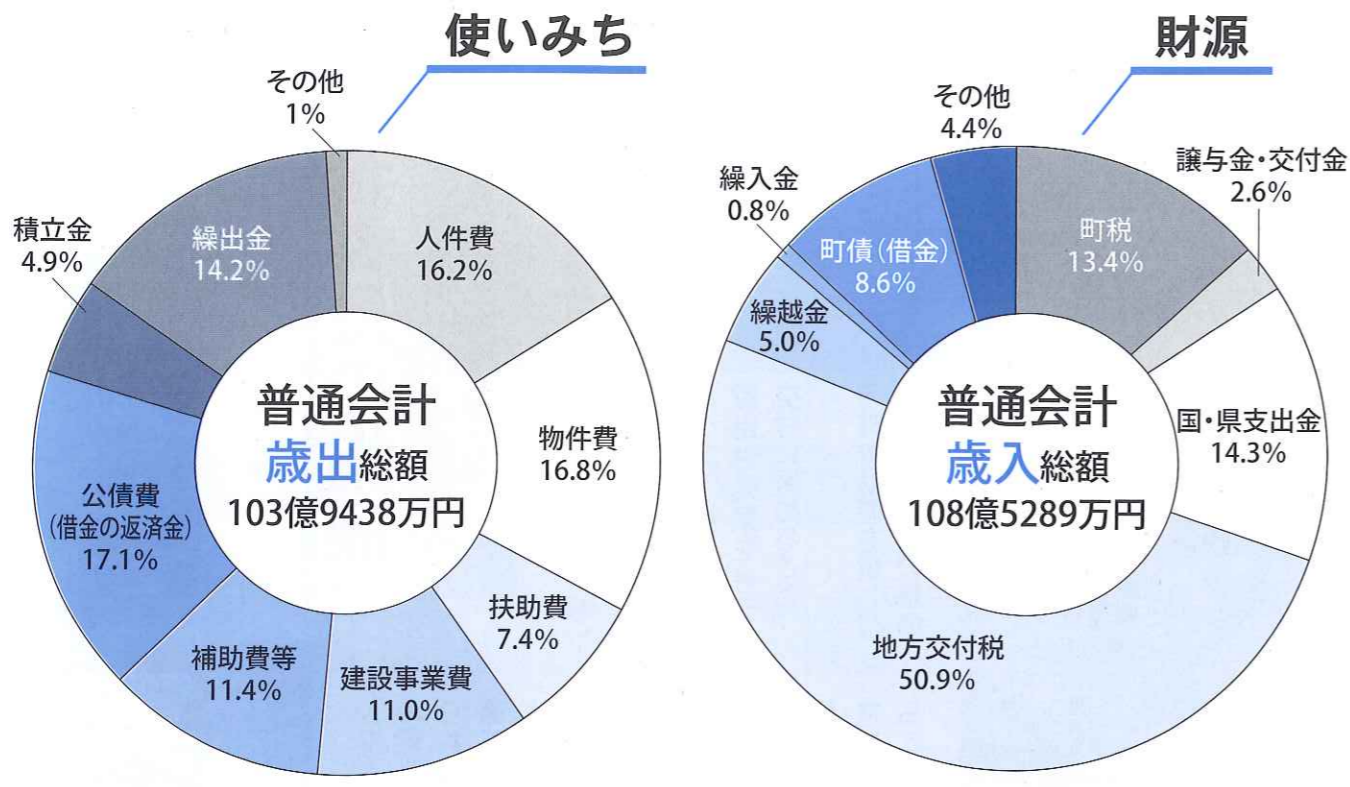
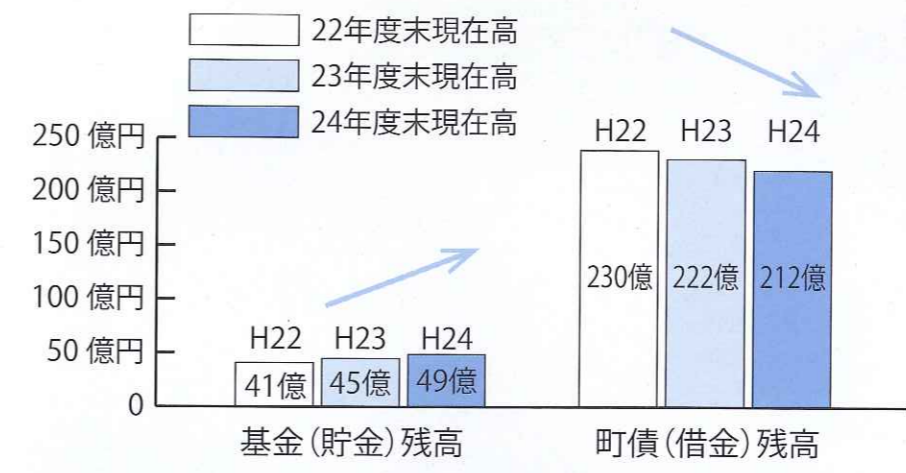
議員ご発言

町の財政状況はどうなる？

平成24年度普通会計の決算は、歳入総額108億5289万円(前年度比9億8387万円の減)、歳出総額103億9438万円(前年度比9億315万円の減)となりました。

また、貯金となる基金の残高は、一般会計が44億7190万円、特別会計が3億8890万円、前年度に比べ両会計を合わせて3億6533万円の増となりました。

借金となる町債の残高は、一般会計が113億3911万円、特別会計が98億1969万円、前年度に比べ両会計を合わせて10億5023万円の減となりました。



普通会計とは?…本町の平成24年度普通会計は、一般会計に土地取得・住宅新築資金等貸付事業・開拓専用水道事業・情報通信事業など5つの特別会計を加えたものです。

○普通会計 内訳 (金額・説明)

項目	24年度	23年度	比較増減	説明
歳入				
町税	14億5764万円	14億9990万円	△4226万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
譲与税・交付金	2億8562万円	3億1922万円	△3360万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
国・県支出金	15億5363万円	18億1964万円	△2億6601万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
地方交付税	55億2705万円	57億271万円	△1億7566万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
繰越金	5億3924万円	5億5768万円	△1844万円	前年度からの繰越金
繰入金	9013万円	2982万円	6031万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
町債(借金)	9億3060万円	14億6680万円	△5億3620万円	町が事業を行うために借り入れるお金
その他	4億6898万円	4億4099万円	2799万円	使用料・財産収入・特別会計からの繰入金・繰越金
合計	108億5289万円	118億3676万円	△9億8387万円	
歳出				
人件費	16億8115万円	17億4063万円	△5948万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
物件費	17億4240万円	19億230万円	△1億5990万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入などに使うお金
扶助費	7億7470万円	7億5641万円	1829万円	医療費・子ども手当などに使うお金
建設事業費	11億3971万円	18億1806万円	△6億7835万円	道路整備・建物などの建設に使うお金
補助費等	11億8549万円	12億2918万円	△4369万円	補助金・負担金として支出するお金
公債費	17億7789万円	19億8875万円	△2億1086万円	町の借金を返済するために使うお金
積立金	5億1154万円	3億3583万円	1億7571万円	町の基金に積み立てるお金
繰出金	14億7629万円	14億3381万円	4248万円	特別会計に繰出金として支出するお金
その他	1億521万円	9256万円	1265万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
合計	103億9438万円	112億9753万円	△9億315万円	

○町債残高内訳 (平成24年度末現在)

会計名	23年度末現在高	24年度末現在高	増減額
一般会計	117億7715万円	113億3911万円	△4億3804万円
特別会計			
住宅新築資金	5969万円	4710万円	△1259万円
情報通信	11億188万円	8億8757万円	△2億1431万円
地域休養	560万円	2億2010万円	2億1450万円
簡易水道	5100万円	4910万円	△190万円
国保直診	3億4451万円	3億1932万円	△2519万円
介護	5700万円	5600万円	△100万円
農業集落排水	45億7043万円	43億1778万円	△2億5265万円
公共下水道	40億5554万円	37億8359万円	△2億7195万円
風力発電	1億3668万円	1億2038万円	△1630万円
宅地造成	4955万円	1875万円	△3080万円
小計	104億3188万円	98億1969万円	△6億1219万円
合計	222億903万円	211億5880万円	△10億5023万円

○基金・町債残高 (平成24年度末現在)

		23年度末現在高	24年度末現在高	増減額
基金(貯金)残高	一般会計	40億5129万円	44億7190万円	4億2061万円
	特別会計	4億4418万円	3億8890万円	△5528万円
町債(借金)残高	一般会計	117億7715万円	113億3911万円	△4億3804万円
	特別会計	104億3188万円	98億1969万円	△6億1219万円

平成24年度決算を審査

実効ある滞納対策を求める

監査委員の指摘

代表監査委員 後藤洋次郎
議会選出監査委員 西山富三郎

① 財産調査に計上漏れの資産がある。早急にすべての町有財産を調査し、適切な管理をすること。

② 税金・各種使用料の未収金は、5億8899万円であり、昨年度を下回ったが依然として高額である。
特に国民健康保険税の収納率が低く、これまで以上の実効ある滞納・未収金対策を検討すること。

③ 「かばち選手権」など、補助金の効果が十分認められないイベントがある。費用対効果を考え、交付に努めること。

④ 町有財産を貸し付けるとき一定の基準



監査意見書を町長に提出

⑤ 発注工事の工期延滞で、完成が翌年度にずれ込み、繰越明許費で、議会承認手続きが欠如したものがあ。法令及び事務処理の順守に努めること。

がなく、無償や低額での貸し付けが見受けられる。契約時には、適正な賃貸料となるよう改善を要す。

議会の意見

決算審査特別委員会

① 一般会計決算は、安定した財政運営で基金残高48億1880万円と増加しているが、平成27年地方交付税特別措置が縮減されることをふまえ、町有地の売却・貸し付け、ナスパルタウン団地の販売促進などに努め、自主財源の確保をはかられたい。

② 町税や住宅新築資金等貸付金など

③ 大山恵みの里公社は、町の活性化に大きな期待をしているが、事業推進に十分な点もある。大山の恵まれた自然を生かした農林水産業の発展や生産者との連携を密にした事業を

④ 大山診療所は、早急に固定医を確保し、よりよい運営方針を模索されたい。



さらなる販売促進を(ナスパルタウン)

一目でわかる審議結果 9月定例会 提出議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	加藤紀之	大原広巳	大村正彦	圓岡伸夫	遠藤幸子	米本隆記	大森正治	杉谷洋一	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岩井美保子	岡田 聡	西山富三郎	結果	
一般会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成11人 可決
住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成12人 可決
地域休養施設特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人 可決
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人 可決
国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
索道事業特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
水道事業会計決算の認定		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決

○全会一致の議案

議案	結果	議案	結果
土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	可決	宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決
開拓専用水道特別会計歳入歳出決算の認定	可決	鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算の認定	可決
情報通信事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	一般会計補正予算(第4号)	可決
簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	一般会計補正予算(第5号)	可決
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	可決
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	水道事業会計補正予算(第1号)	可決

○議員提出議案

議案	結果	議案	結果
道州制導入に断固反対する意見書	全会一致 可決	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書	全会一致 可決

※議案の採決は、野口俊明議長を除く15人で行います。

議案の質疑討論

9月定例会

一般会計

質疑

林業費

【野口昌議員】
林業費の県補助金が、予算より決算は約600万円少ないが理由は。

【農林水産課長】
森林整備担い手育成対策事業補助金の当初取り組みを予定した団体がとりやめた。また、松くい虫の防除も、当初予算より事業費が少なかった。



森林の保全を

土地売払収入

【岡田議員】
土地売払収入が約1592万円ある。1㎡あたりの単価が、妻木と上萬

は、7500円から8300円、赤松は2400円だが、どのような土地か。また単価は妥当か。

【総務課長】
赤松分校の跡地で集落にこの単価で売買した。そのほかは入札をしてこの単価になった。

旧逢坂保育所

【西尾議員】
旧逢坂保育所改修工事の目的は。

【観光商工課長】
食品加工で、町内のグループや個人から強い要望を受けて、整備した。工事は、3月末で完了した。



改修された食品加工室

漁具の復旧

【加藤議員】
暴風被害漁具復旧支援事業補助金の対象は。

【農林水産課長】
工事のために本来置く場所でないところに置いていた網が、高波にさらわれて海へ落ちた。今回その網を県が補助対象としたので1件の助成をした。

公共交通

【吉原議員】
公共交通あり方検討事業の内容は。

【企画情報課長】
スマイル大山号の利用状況・運行状況・住民アンケートの結果などをふまえ、増便や乗降場所の拡大などを年度中に行った。研修は、広島・東京・埼玉などの先進地を視察した。



利用の促進を

質疑

滞納対策

【近藤議員】
約6億円の滞納のうち、かなりの額が不良債権になっているのではないか。

【代表監査】
依然として滞納が多い。特に時効を考慮して回収してほしい。また、回収をあきらめたら真面目に納めている人との公平が取れない。最後まで努力する必要がある。

町営墓地

【遠藤議員】
墓地調査委託料の内容は。

【総務課長】
町営墓地の希望があつて、平成24年度に適地を探す予算を組んだ。調査の結果、旧町に1カ所ずつと大きなもの1カ所の、計4カ所が適地として報告された。



要望のある墓地

不納欠損と徴収

【米本議員】
町税を不能欠損する基準は。また、滞納の徴収方法は。

【税務課長】
地方税法第15条第7項の滞納処分執行停止と同法第18条の時効消滅によるもの。徴収は、納期限までに納付がないときは、納期限から20日以内に督促状を送付する。その後、納税勧奨や、必要に応じて法的処分を行っている。

討論

一般会計

【原案に反対…大森議員】
一般会計の基金のうち17億円は自由に使える基金だ。その一部を繰り入れれば、国保税を引き上げる必要はなかった。

同和対策は12年前に法的根拠を失ったが、町では今も続けている。

【原案に賛成…杉谷議員】
国保税は、町が勝手に決めたものではない。国保運営協議会で議論された結果だ。同和問題は、まだ終わっていない。

【原案に反対…圓岡議員】
進学奨励交付金などを継続することは、同和地区を固定化することになる。

一般施策に移行し、経済的な理由などによって進学をためらう子どもたちも対象にすべきだ。

【原案に賛成…西山議員】
地区学習会は、子どもたちの可能性を伸ばす大切な事業だ。

【原案に反対…近藤議員】
将来を考えれば、経常経費の削減にこそ、積極的に取り組むべきだ。産業振興・定住施策・子育て支援など積極的な事業展開に45億円の基金は使うべきだった。

質疑

医療費の削減

【大森議員】

ジェネリック医薬品に切り替えると医療費が削減されると言われている。町は、7月に個人通知をしたが、薬の切り替えによってどれくらいの医療費の削減になったか。

【住民生活課長】

医薬品をどのように使うかの個人的なデータがなく、削減効果は把握できない。

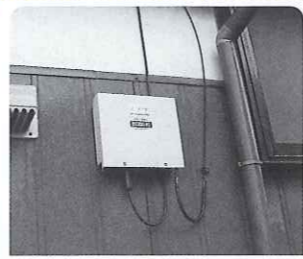
ケーブルテレビ

【米本議員】

D・ONU（光回線終端装置）の、平成24年度末の在庫数と年間の更新数は。

【企画情報課長】

在庫が230台で、今年度の4月に200台購入し、430台の在庫がある。1年間に約100台の更新をしている。



D-ONUの入るボックス

不能欠損

【西尾議員】

117万円の不能欠損の理由は。

また、平成23年度に比べ、平成24年度の未収金が増えた理由は。

【水道課長】

公共下水の使用料は、地方自治法にもとづいて不能欠損をしている。平成4年度から執行していないので、金額が大きくなった。未収金は、督促状を出してもなかなか応じてもらえないため。

国民健康保険 特別会計

討論

住宅新築資金 特別会計

討論

【認定に反対… 圓岡議員】
この特別会計だけで滞納は約3億1600万円ある。収納率は約4.5%だ。3億を超える滞納に対し、解決の糸口さえも見えない。

【認定に賛成… 西山議員】
この事業の一部のみを見るのではなく、事業の効果も評価すべきである。将来の展望にたった大きな事業であったことを評価し、賛成する。

【認定に反対… 大森議員】
国民健康保険税は、平成24年度に引き上げられた。その影響が滞納は前年度に比べ、約150万円増えた。この税がいかに過酷で払いたくても払えない税かわかる。
【認定に賛成… 西尾議員】
特別会計はその会計の中で収支することになっている。今回も基金から約6600万円を

【認定に反対… 大森議員】
決算を見ると、予算の段階から問題があった。貸付金元利収入が予算化されたのは調定額の57%しかなく、はじめから全額徴収する姿勢がない。こうした大きな問題を持つ決算を認めるわけにはいかない。

【認定に反対… 圓岡議員】
繰り入れ、基金残高は約1億2000万円である。次にもしこれを繰り入れれば、基金は底をつく。
【認定に反対… 圓岡議員】
人間ドックや脳ドックの予算を増やせば、この税を値上げせざるを得ない矛盾を抱えている。この疾病予防費分は、一般会計から繰り入れるべきだ。

補正予算

質疑

山村文珠領線

【圓岡議員】

町道山村文珠領線の始点と終点は。この改良工事は、あと何年かかる見込みか。

【建設課長】

汗入カントリーエレベーターの東側から庄内保育所前の交差点。平成26年度を最終年度と考えている。



改良が進む道路

倉庫屋根修繕

【杉谷議員】

大山の集会所である大山自治会館の倉庫屋根修繕費があるが、なぜ町の予算にあがっているか。

【観光商工課長】

大山自治会に貸し付けをしているのは、自治会館本体のみ。この倉庫は町が管理をして、観光イベントなどで使用する物を収納している。風などで破損した部分は、町が修理をする。

茶畑団地

【西尾議員】

茶畑団地の解体工事は1棟だが、すべてで何棟あるか。その後の利用方法は。

【建設課長】

解体後は残り2棟になる。跡地は、売却も検討する。



解体する町営住宅

移住推進事業

【若井議員】

移住マッチングモデル推進事業委託料。この事業はマッチングモデルなので、事業が成功すれば増えていくのか。

【企画情報課長】

県の補助事業で、モデル的に行っている。今後は、各町村の実施状況や成果を見て、継続するか、拡大するかは、県が判断する。

限度額 100万円

【加藤議員】

津波避難経路整備工事で、1自主防災組織あたり100万円を限度額にした理由は。

【総務課長】

対象としているところは今2集落。その工事概算で算出したところ、約100万円あれば整備できるというので設定した。



対象の避難路

予算減額の理由

【大森議員】

町道坊領向原線の道路新設改良費の委託料で、200万円の減額理由は。

【建設課長】

委託料として、詳細な設計委託および河川の協議にともなう資料の作成のために1800万円を予算化していた。しかし、実際の設計や内容ができて上がって予算が余った。

教育民生 常任委員会

庄内保育所

- Q「名和さくらの丘保育園」の完成後、庄内保育所はどうなるか。
- Aあまり少人数になっても集団保育の効果が薄れてしまう。入所希望者数によって検討していく。

幼児教育課

出生数

- Q出生数の推移は。
- A近年は100人前後で安定していた。平成24年度は80人になってしまった。



いっそうの少子化が懸念される

保健課

学校を視察



音楽の授業(大山西小学校)

大山小学校・大山西小学校・大山中学校を視察した。授業を見学し、校長などと意見交換を行った。

特色ある学校づくり

- Q特色ある学校づくり補助金は。
- A各学校で、地域ボランティアの活用、赤ちゃんふれあい交流、一人一木活動などを行っている。本町独自のものです。現場の教職員からは好評である。

学校教育課

文化財保護の仕事

- Q文化財保護部門は仕事量が多いが、体制は。
- A人員は十分ではないが、担当職員は懸命にがんばって結果を出している。

社会教育課

補助金の見直し

- Qいきいきふれあい活動支援事業は、他の事業と重複して、二重に補助金を交付しているのではないか。
- A行財政改革審議会が答申した改革の具体的な取り組みや目標を示した集中改革プランでも指摘を受けていて、改善する。

福祉介護課

9月定例会

常任委員会の活動

総務 常任委員会

滞納対策

- Q税金の滞納対策は。
- A電話催告・差し押え・職員による訪問徴収などを行った。差し押えは40件(国税還付金22件、預貯金16件、不動産・生命保険各1件)。滞納者へ行政サービスを制限する条例を制定予定。

税務課

業務と課題

- Q総合窓口課の業務と課題は。
- A総合窓口課の業務は、他の課にかかわる業務がほとんどである。3交代制やマニュアルの作成によって、住民サービス向上に努めている。

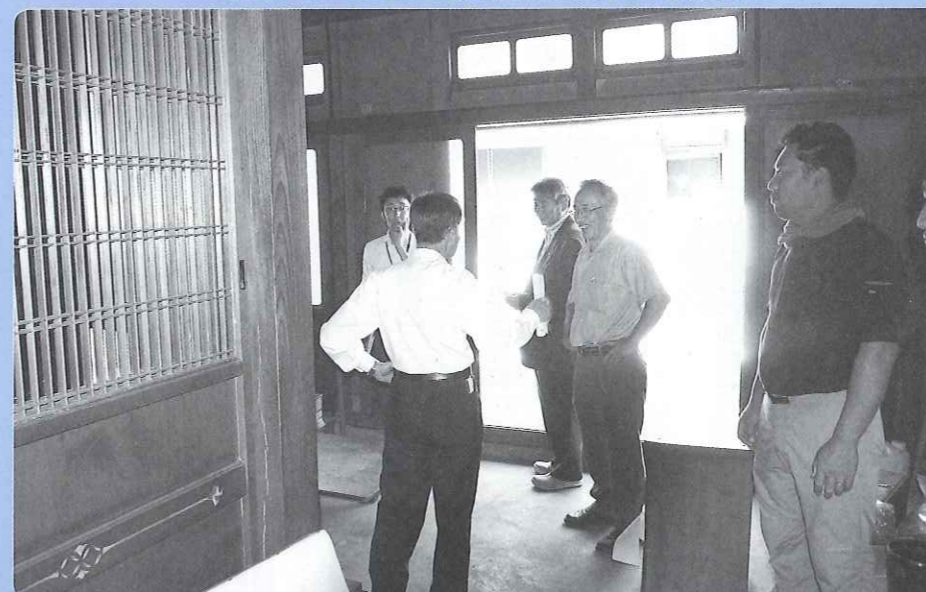
大山・中山総合窓口課

基金は将来のために

- Q基金が45億円もあるが、使いみちの計画は。
- A地方交付税が、合併後10年間は合併前の市町村数で算定される。しかし、平成27年度からは、交付税が減っていく。国の方針に左右されるので、将来に備える。使途計画は作っていない。

総務課

まちづくりの拠点施設を視察



改修中の馬淵邸

閉所した保育所や空き家となった古民家を活用し、まちづくりに取りくむ施設を視察した。「地域」と「ひと」をつなげる活動拠点として期待される。

「築き会」とは？
漁師や大工など異業種の若者たちで構成し、地域おこしに取り組むグループ。



馬淵邸を拠点施設に

- Q上市にある古民家「馬淵邸」の活用は。
- A「築き会」が馬淵邸を改修し、町と連携して住民の交流・活性化・移住定住につながる事業を行う。逢坂地区のまちづくり会議の拠点施設として想定している。

企画情報課

住宅新築資金等貸付事業

- Q現状と課題は。
- A貸し付けは平成8年で終了し、件数・額は、延べ811件・約23億6000万円。滞納の件数・額は、163件・約3億2000万円。各滞納者の事情を調べ、訪問・呼び出しなど事情に合った対応が必要である。

人権推進課

みなさんからの請願・陳情はこうなりました

9月定例会で審査した請願・陳情の委員会・本会議での採決結果を報告します。

請願・陳情の内容	請願・陳情者	委員会の意見・結果	付託委員会	本会議採決結果
麻生副総理の『ナチスの手口を見習い、憲法改定を』という発言に対し、副総理及び財務大臣を辞任するよう求める意見書の提出を求める請願	憲法改定反対鳥取県共同センター代表 鳥取県労働組合総連合議長 田中 暁 (紹介議員) 大森正治・圓岡伸夫	発言した全文と、請願書で問題視している発言の前後の流れを読み解けば、麻生副総理の真意は、請願書に記述してある内容とは発言の主旨が異なる。 全会一致で不採択。	教育民生	不採択 (賛成 2人 反対13人)
子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	新制度の目的のひとつに、都会の待機児童などの解消があるが、本町においては子育てしやすい環境が整備されている。 新制度の導入を議論するには、今後、自治体が取り組むべき具体策などの政府の指針が全て示されてなく、現状では結論を出せない。 全会一致で継続審査。	教育民生	継続審査
年金2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部 委員長 増田 修治	世代間の不公平感を緩和し、安定した持続可能な制度にしていくためにも、年金2.5%削減は必要。 全会一致で不採択。	教育民生	不採択 (賛成 2人 反対13人)

経済建設 常任委員会

ナラ枯れ被害

Q ナラ枯れ対策は。
A 県の防災ヘリで空中探査した。大谷・渡道・羽田井および甲川上流の国有林で新たに被害地を確認し、これまでと合わせ町内8カ所になった。
今後、県の緑の産業再生プロジェクト事業を利用して駆除する。

農林水産課

豪雨被害の復旧

Q 今夏の集中豪雨被害の対応は。
A 7月15日の集中豪雨で、町道坊領向原線など大きな被害が出た。補正予算を組んで復旧にあたり、9月中に完了予定である。



復旧した橋

建設課

ナラ枯れ被害を確認



国立公園でも発生(下山キャンプ場)

樹幹にカシノナガキクイムシが潜入し、町内でも深刻な被害が発生しているナラ枯れの現地確認を行った。
今後、効果的な予防と駆除が必要となる。

夕陽の丘神田

Q 改修後の夕陽の丘神田は。
A 4月以降、例年の3倍近い利用者数となっているが、まだ町内利用者は少ない。今後、アクセス道路の整備などを進めたい。
Q 山陰道の開通が早まったが。
A 案内看板など、急いで準備している。

観光商工課

断水の原因

Q 8月の名和地区の断水は。
A 落雷により一時的に断水した。すばやい対応で給水事業に直接影響は出なかった。

水道課

荒廃地

Q 農地パトロールの目的は。
A 巡回して、荒廃地となっている農地の所有者に利用を求めている。むずかしい問題だが、今後も続けていく。

農業委員会

請願・陳情

本会議での

討論

○麻生副総理の辞任要求の請願

〔賛成〕(大森議員)

憲法改正に「ナチスの手口を学べ」というのは、ナチズムを肯定し民主主義を否定する暴論だ。

〔反対〕(野口昌議員)

全発言を読むと、請願にある解釈にはならない。

〔賛成〕(圓岡議員)

安倍政権がめざす右傾化を、副総理が代弁したようなものだ。

〔反対〕(吉原議員)

悪い例に使われているが、誤解を招いたので撤回されている。

○年金2.5%の削減中止の陳情

〔賛成〕(大森議員)

年金の削減で、制度が持続可能ということはない。削減によって、暮らしも経済も悪化が予測される。

〔反対〕(野口昌議員)

年金制度を支えている世代から見れば、特例措置を維持することこそが不公平だ。

〔賛成〕(圓岡議員)

下がるのはよいことではないが、やむをえない。年金生活者の暮らしを守るためには、中止すべきだ。

あなたの声を町政に

14人が町長・教育委員長に、一般質問を行いました。

一般質問席

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

ページ	質問事項	質問議員
16	1. 自治基本条例の制定について 2. 職員の行動指針は策定しているか	西山 富三郎
17	1. 水害や土砂災害などの防災対策について 2. 磯焼け対策について	杉谷 洋一
18	1. 高校生家庭への子育て支援を 2. 「税と社会保障の一体改革」を問う	大森 正治
19	1. 今後の町政のかじ取りは 2. 大山町だからできること サイクリングを活性化の目玉に	西尾 寿博
20	1. スポーツ少年団の活動支援について 2. 指定管理者制度について	大杖 正彦
21	1. どうする介護保険の要支援外し 2. 旧甲川マス釣り場上側のえん堤の浚渫の働きかけを 3. アベノミクスと畜産業	圓岡 伸夫
22	1. 大山町における防災・減災の取り組みは 1. 津波に対する防災について	吉原 美智恵 加藤 紀之
23	1. カーブス誘致について 2. 名和小学校の信号機から運動公園にいたる町道の植栽について	岩井 美保子
24	1. 空き家・空き地の適正管理を 2. 防災教育の充実を	岡田 聡
25	1. 山陰道開通と地方道路の修繕について 2. 中山温泉利用者増の取り組みについて	野口 昌作
26	1. 農業後継者問題について 2. 空き家対策について	大原 広巳
27	1. 人口減少の対策は 2. パート3 旧光徳小の今後は	米本 隆記
28	1. 空き家の適正な管理について	遠藤 幸子

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます

自治基本条例の制定は？

町長 まちづくりに参画の機会を設けている



西山 富三郎 議員



庄内地区住民による海岸清掃

【西山】住民自治の確立をはかるため、自治基本条例を策定しないのか。
 【町長】県内では、19の自治体のうち5団体が条例化している。しかし、地方自治で重要なことは、その自治体の住民の意思と責任にもとづいて行政を行うことである。

の健康診断による村づくり、まちづくり地区会議の活動、さまざまなグループ活動、そして、自主防災組織の育成など、住民がまちづくりに積極的に参画する機会を設けている。住民参画による「未来づくり10年プラン(仮称)」の策定にも取り組む。

【西山】前例にとらわれない創意工夫をはかっているか。
 日本一親切、ていねいで明るい庁舎の実現をめざす職員として、自覚と誇り・自発的行動を促しているか。
 使命感・責任感・向上心を持ってチャレンジしているか。
 誠心誠意・公平公正・法令・税の重みを理解し、効率・効果的な運営をはかっているか。
 町民・職員・自分・心苦しさ・仕事・地域などと向き合っているか。
 【町長】平成20年2月、大山の恵みを受け継ぎ、

職員の行動指針は？

町長 策定している

元気な未来をひらく職員をめざす「大山町人材育成基本方針」を策定している。
 平成20年7月、「大

山町職員コンプライアンス行動指針」も策定している。
 町民全体の奉仕者であることが基本である。



仕事にはげむ職員(企画情報課)



杉谷 洋一 議員

【杉谷】町民が安心・安全に暮らせるため、大規模災害に対する取り組みが必要である。自主防災組織の現況は、

災害の対応は？

町長 早めの避難を呼びかける



土砂災害を想定した防災訓練

【町長】108集落が組織化している。さらに、区長会や広報活動を通じて増やしたい。

【杉谷】避難用の水害・土砂災害マップは、

【町長】県では、現行マップの見直しが進められており、本町もその見直しにあわせて、さらに充実させる。

【杉谷】非常食などの備蓄や分散化は、

【町長】町の備蓄のほか、民間団体・他の自治体との災害協定により対応している。

また、分散化は、まちづくり地区会議と検討する。

【杉谷】大雨特別警戒が発せられたときの対応は、

【町長】通常の災害時と同様に、防災無線で住民に早めの避難を呼びかける。

【杉谷】河川の雑木の除伐対策は、

【町長】二級河川は、県に毎年除伐を要望している。

磯焼け対策は？

町長 資源豊かな海づくりを進める



磯焼けが心配される海岸

【杉谷】海の砂漠化現象である磯焼けが発生し、ワカメなどの海藻の生育が悪く、サザエ・アワビなどの漁獲量が減少している。いったん発生すると藻場の回復に長い年月を要する。早期の対策が必要ではないか。

【町長】今年度から3年計画で国の支援を受け、各漁協が、藻場造成の取り組みを実施している。町としても関係機関と連携し、資源豊かな海づくりを推進する。

【杉谷】小学校とPTAあるいは地域が一緒に、藻場の再生・保全活動に取り組んで

藻場の再生や保全活動は行っていない。

高校生家庭の支援は？

町長 考えていない



大森 正治 議員

【大森】子育てしやすい環境づくりは、自治体の重要な責務で、定住策でもある。現在、高校生家庭への支援事業はない。具体的支援策として、高校通学費の補助、



JR利用の高校生(大山口駅)

高校生へも医療費助成、旧同和地区限定の進学奨励金にかけて、全員対象の給付制奨学金を実施する考えはないか。

【町長】現時点では考えていない。

【大森】できない理由は、

【町長】施策は選択しながら、必要に応じて取り組むもの。授業料無償化という国の支援策に上乗せする考えはない。

【教育委員長】義務教育ではないことが最大の理由である。

【大森】医療費助成に必要な予算額は、

【町長】約450万円の試算がある。

【大森】旧同和地区に限らず、就学困難な家庭はある。給付制奨学金は、貧困と格差解消の観点からも、自治体に求められる施策では、

【町長】今ある奨学金制度の活用をしてほしい。

税と社会保障の一体改革は？

町長 国の動向を見ながら



診察を待つ高齢者(大山診療所)

【大森】いま国が進める社会保障制度は、国民にとって給付削減、負担増加ばかりで、社会保障の後退になる。70歳から74歳の医療費負担1割から2割への増加や国保の県への運営移行をどう考えるか。

【町長】保険料と給付の両面で、より公平な負担になるということだ。

国保の県への移行は、財政支援を拡充し、持続可能な制度をめざすもの。

【大森】介護要支援者の介護保険外しと町任せをどう思うか。

【町長】制度見直しの内容をみながら、対応を検討する。

【大森】年金の削減をどう考えるか。

【町長】年金制度の将来を考えたやむをえない改正だ。

【大森】来年4月から消費税が増税となるが、

【町長】景気の腰を折らない経済対策や、低所得者に対する施策を国に要望したい。